



祭 彩

威勢のいい掛け声を上げる
みこし衆(上)と、長い毛や
りを持った奴行列(下)

澄み渡る秋空の下、各地で行われた秋祭り。奴(やっこ)行列や、彩られた山車(だし)が街を練り歩き、見物客を楽しませた。



(上)もうすぐ行列が出発。
道案内役の猿田彦【玖波祭】



(上)列の先頭を進む奴行列【玖波祭】

各地区で作った山車(左)は迫力満点で、見物客の注目を集める。
今日は1年に1度のお祭り。友達同士で楽しそうだ(下)【大竹祭】



JR広島駅前の地下広場で歌う大竹月代さん。

故石本美由起さんの 歌を熱唱

JR広島駅前地下広場

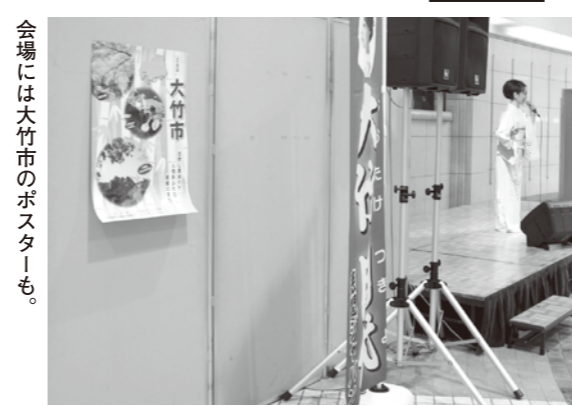
9月27日、玖波出身の歌手、大竹月代さんが、JR広島駅前の地下広場でコンサートを行った。

最初に「大竹市出身の大竹月代です」とあいさつしたあと、同じ大竹出身で一昨年亡くなった詩家、故石本美由起さんの名曲「憧れのハワイ航路」や、「柿の木坂の家」などを披露した。この日、廿日市市から歌を聴きに來ていた三浦貞男さん(65歳)は、「彼女の声はすごく澄んでいて、聴いていても気持ちがいい」と話していた。

また、当日は広島東洋カープの試合が行われる日ということもあり、同氏作詩の応援歌「燃える赤ヘル僕らのカープ」を披露。球場に向かう多くの人が足を止め、歌に聞き入っていた。

9/27

多くの人が歌を聞き入った。



会場には大竹市のポスターも。

優しい気持ちと 思いやりの心を

大竹小学校

花を育てることで命の大切さを学び、思いやりの心を育ててもらおうと、市内の小学校に人権の花が送られた。5日には、大竹小学校で贈呈式が行われ、人権擁護委員からヒヤシンスの栽培セットと球根が手渡された。児童を代表して、米中大貴くん(2年)が、「これからも自分や友達を大切にできるように、がんばっていきたい」と、お礼の言葉を返した。



10/5



(上)ヒヤシンスと栽培セットを受け取る児童。
(下)人KENあゆみちゃんと全員で記念撮影。

